

「日々の理科」(第 2846 号) 2022, -5, 22

## 「チェアリングの楽しみ (1)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

「チェアリング」という行動が話題になっている。英語では”chairing”と綴るようだが、これは本来「議長」のような意味である。しかし、ここでの「チェアリング」は「椅子に座る」という意味である。



私の山荘は築 50 年近く経っていて、中古もいいところだが、裏庭だけは数百坪もあって非常に広い。そこで「チェアリング」を試してみることにした。試してみるといっても、単にお気に入りの椅子を、適当な場所に置いて座るだけのことである。



お客さんが来ると、大勢でバーベキューをすることも多いので、こういう折り畳みの椅子はたくさんある。そのうち、一番座り心地の良さそうなのを、裏庭に置いて座ってみた。ここは、10 年前は鬱蒼とした灌木の林だったが、地掃除をして、今はくさ原になっている。



椅子は畳むと、片手でも簡単に運べる。保管する時は、このまま立てて置けるので、場所もとらない。ひじ掛けの黒い穴は、飲み物を置くホルダーである。



いろいろな場所に椅子を置いて試してみたが、写真の場所が一番気に入った。今の時期は暑くも寒くもなく、虫（特に蚊）がほとんどいないので快適だ。野鳥の声も聞こえて、なかなかいい気分だった。



椅子の背もたれに寄りかかって、森を見上げてみた。空の一点を中心に、木々が「線遠近法」に見える。何もせずに座っていたら、居眠りしてしまった。